

記録的豪雪に挑む

主な登場人物 長野 剛 (ながの・たけし | おらが産業社長 | 54 歳) 浅川 真理 (あさかわ・まり | おらが産業総務部長 | 32 歳)
小川 守 (おがわ・まもる | 大豆島精機社長 | 60 歳)

BCP (事業継続計画) = 災害時に被災しても、主要な事業を継続できるようにしておくための計画・取り組み

突然の災害や事故が発生したら、あなたの会社は事業を続けられますか？この連載では、社員10人の小さな製造業「おらが産業」が、地域や会社にも襲い掛かる災害や事故など、さまざまな危機に立ち向かう架空の物語を通して、事業継続計画(BCP)の必要性和その効果を描きます。危機に備えることが、どれほど大切かを一緒に考えてみませんか？すぐに実践できるヒントが見つかるはずです。

2025年1月〇日、長野市は記録的な大雪に見舞われた。

今回のポイント

- ① 仕入先からの原材料や部品の納品がストップする等の場合に備えて、代替で生産や調達する手段を準備しておく。
- ② 取引先及び同業者等と災害発生時の相互支援について取り決めておく。
- ③ 災害時でも、従業員と連絡が取りあえるようにしておく。

社長の長野剛は、朝から、しんしんと雪が降り積もる真っ白な世界を、事務所の窓から眺めていた。そんな中、総務部長の浅川真理が息を切らして、駆け込んできた。

「社長、大変です！今、テレビで、西山産業の工場の屋根が落ちた映像が映し出されています。雪の重さに耐えられず、抜け落ちたそうなんです」

長野は一瞬、頭が真っ白になった。西山産業は、うちの主要部品の仕入れ先だ。もし数カ月も納品が途絶えれば、すべての製品が作れなくなる。売上にも、かな

りの影響が出ることは間違いない。

このテレビ映像を見たら、社員たちも動揺するに違いない。市内は、大雪で車があちこちに立往生していて、交通は完全にマヒしている。下手に動けば二次災害に巻き込まれる。

昨年受けたBCP研修の講師の言葉が、長野の頭をよぎる。「被災した際に、最も重要なことは、被害をそれ以上拡大させないこと」

長野は、全社員にLINEでメッセージを流した。

「除雪が終わるまでは、車での外出は

控えろ。会社は大丈夫だから心配するな。今は、安全を最優先に、絶対に二次災害に巻き込まれないようにしてくれ」

昨夜から大雪になることを予想して、社員には、出社を控えるように伝えていた。

既読マークが次々に表示され、社員から「了解」「OK」の投稿が上がってくる。

浅川はすっかり落ち着きを取り戻し、バッグからパソコンを取り出すと、部品表のエクセルを開いた。

「社長、昨年のBCP研修の後、主要部品については、2週間分の在庫を持つ

ようにしましたから当面は持ちこたえられます。それに、万が一の事態に備えて、大豆島精機さんと、被災時の応援について話し合ったのを覚えていませんか？」

大豆島精機は、西山産業と同じ金属部品メーカーだ。大豆島精機の小川守社長は、BCP研修のとき、長野とグループワークで一緒だった。

早速、小川さんに電話をかけると「困ったときはお互い様ですよ。2週間もあれば、御社の規格にあった製品を納品させていただきます。西山産業さんの仕事を奪い取ろうなんて考えていませんから大

丈夫です。うちは、つなぎで結構ですから」と、恬淡とした口調で話した。

2週間は在庫でつなぎ、それから2週間は、大豆島精機さんが代替の部品を入れてくれた。こうして、おらが産業は危機を乗り越えた。大雪の後、長野は社員たちにこう伝えた。

「今回の雪で学んだことが生きたBCPだ。この経験を活かして、もっと強い会社を目指す。おらが産業の新たな一歩だ！」

小さな会社でもできるBCPチェック

BCP (Business Continuity Plan：事業継続計画) と聞くと、なんだか難しく感じられるかもしれませんが、立派な計画を作る必要なんてありません。小さな会社でもすぐにBCPに取り組むことができます。大切なことは、どんな小さな取り組みでも、継続して行うこと！毎月1回、30分でもいいので、下記のような質問項目を参考に、何ができそうか考え、できるものから少しずつやってみてください。まずは、防災をしっかりと行うことから始めてみるのも結構です。

リスク	内容
人的資源	緊急事態発生時に、支援が到着するまでの従業員の安全や健康を確保するための災害対応計画を作成していますか？
	災害が勤務時間中に起こった場合、勤務時間外に起こった場合、あなたの会社は従業員と連絡を取り合うことができますか？
	緊急時に必要な従業員が出社できない場合に、代行できる従業員を育成していますか？
	定期的に避難訓練や初期救急、心肺蘇生法の訓練を実施していますか？
物的資源(モノ)	あなたの会社のビルや工場は地震や風水害に耐えることができますか？そして、ビル内や工場内にある設備は地震や風水害から保護されますか？
	あなたの会社周辺の地震や風水害の被害に関する危険性を把握していますか？
	あなたの会社の設備の流動を管理し、目録を更新していますか？
	あなたの会社の工場が操業できなくなる、仕入先からの原材料の納品がストップする等の場合に備えて、代替で生産や調達する手段を準備していますか？
物的資源(金)	1週間又は1ヵ月程度、事業を中断した際の損失を把握していますか？
	あなたは、災害後に事業を再開させる上で現在の保険の損害補償範囲が適切であるかどうかを決定するために保険の専門家と相談しましたか？
	事前の災害対策や被災時復旧を目的とした融資制度を把握していますか？
	1ヵ月分程度の事業運転資金に相当する額のキャッシュフローを確保していますか？
物的資源(情報)	情報のコピーまたはバックアップをとっていますか？
	あなたの会社のオフィス以外の場所に情報のコピーまたはバックアップを保管していますか？
	主要顧客や各種公共機関の連絡先リストを作成する等、緊急時に情報を発信・収集する手段を準備していますか？
	操業に不可欠なIT機器システムが故障等で使用できない場合の代替方法がありますか？
体制等	あなたの会社が自然災害や人的災害に遭遇した場合、会社の事業活動がどうなりそうかを考えたことがありますか？
	緊急事態に遭遇した場合、あなたの会社のどの事業を優先的に継続・復旧すべきであり、そのためには何をすべきか考え、実際に何らかの対策を打っていますか？
	社長であるあなたが出張中だったり、負傷したりした場合、代わりの者が指揮をとる体制が整っていますか？
	取引先及び同業者等と災害発生時の相互支援について取り決めていますか？